

昭和館と学校をつなぐ広報・広聴紙

# 昭和館だより



平成17年4月1日  
第4号 編集・発行



〒102-0074  
東京都千代田区九段南1-6-1  
☎03-3222-2577  
<http://www.showakan.go.jp>

## 伝えたい、戦中・戦後の暮らし



ご希望に応じて、説明員が分かりやすい解説をしてくれます。



昭和館には、たくさんの学校がバスを利用して勉強に来ています。



初めて見聞きするものばかりです。(写真は、当時の千人針の展示)



小・中学生の入館者数が過去最高を記録。  
学校の教育活動を支える昭和館に、ますます注目が高まっています。

戦中・戦後の暮らしを伝える昭和館は、オープンから五年を経た平成十六年度に、二六二九三人の小・中学生をお迎えし(十六年四月〜十七年二月の有料入場者)、過去最高の学生利用者数を記録しました。これも、当時の国民生活上の労苦を後世に伝える当館の趣旨が、学校関係者の方々に周知された成果だと職員一同喜んでおります。

また、先生方からは、たくさんの感想をお寄せいただいております。ここでは施設案内とあわせて、その一部をご紹介します。今後も魅力ある館の運営につとめますので、当館の見学をぜひご検討ください。

常設展示室(七・六階)では、「母と子の戦中・戦後」をメインテーマとして、日中戦争、太平洋戦争、戦後の混乱期と復興を含む、昭和十年頃から三十年頃までの生活資料などを展示しています。「本物を展示してあ



昭和館では学校団体に昼食場所を提供しています。



大きな写真の前では、つい足が止まります。

ること、教科書に載っているものを展示してあることなど、児童も戦争をより身近なものとして考えることができる。写真なども、現在の東京と比較できて





映像・音響室の情報検索端末です。

すばらしい展示だと思う」「小学校・栃木県」「各ブースごとに解説シートがあり、持ち帰ることができたのはありがたいことでした。また内容も詳しく、生徒達の学習になります」「中学校・兵庫県」

**映像・音響室（五階）**には情報検索端末が揃えられ、当時の写真や動画、音楽を視聴することができます。「各自が自分で調べたいものを調べられて大変喜んで学習している。操作も簡単で子供たちもどんどん調べていた」「小学校・茨城県」

**図書室（四階）**には約十万冊の文献があり、調べ学習などに役立ちます。「子供たちは夢中で調べていました」「小学校・静岡県」

## 2学期の主なご来館校

藤沢市立鶴洋小学校 6年生	176名
川崎市立鷺沼小学校 6年生	176名
入間市立扇小学校 6年生	172名
公文国際学園中学校 3年生	168名
さいたま市立大谷小学校 6年生	167名
八街市立朝陽小学校 6年生	166名
さいたま市立南浦和小学校 6年生	162名
(人数順)	



授業でも使えるパンフレットを差し上げています。



図書室にはたくさんの本があります。

## 今日の一枚 <写真資料>



### 捨てられたバスで生活する家族 (昭和21年9月 東京)

昭和20年8月に戦争は終わりましたが、空襲で家を失った人々が、その当時はまだたくさんいました。この家族は、家を建てなおすまで、壊れたバスの中で暮らしていました。他に、大きな金庫や土管の中で暮らした人々もいたのです。

**昭和館に 行ってみよう!**

昭和館は開館以来、約二千校・約十万人の小・中学生が見学に訪れています。生徒たちは当時の労苦を伝える資料に深い感銘を受けているようです。

当館では説明員による案内も行っており、**学校団体には昼食場所を提供しています。また、学校団体はバスも無料で駐車できます。**団体・班行動での見学先として、土曜日・日曜日の学習の場として、ぜひご活用ください。(事前のご予約をできるだけお願いします。)

夢中で見学していて、ふと気がつく「あれっ!? 帽子がない!!」

昭和館に届けられる忘れ物の数は、一位しおり、二位帽子、三位筆記用具の順になっています。せっかく見学して記録を残したしおりを忘れるのは悲しいかぎり。昭和館では、忘れ物の返却に努めています。忘れ学の際はくれぐれもお気をつけください。

(^\_^;) **忘れ物にご注意ください**

**ご意見をお寄せください**

本紙を読まれたご感想、昭和館へのご意見、また実際に見学された際のご感想等を下記にお送りください。今後の編集と、館の運営の参考にさせていただきます。

〒102-0074  
東京都千代田区九段南1-6-1  
昭和館 総務課  
ファックス 03-3222-2575

戦争中、多くの人が食べていた「すいとん」。「すいとん」の作り方を紹介するとともに、戦中・戦後の食生活や配給、食糧事情の移りかわりを解説していきます。わかりやすい絵や図表もたくさんあります。これを参考に、当時の食事を作ってみるのも良いでしょう。

## 「すいとん

発見!体験!日本の食事② (ポプラ社)



「すいとん」の1冊  
図書資料